

動植名彙

五





動植名彙五

鳥類

河行

あまとり スカトリ

和胡鶩

阿方  
土堂

字鵠

藻十九

名駕

アカドリ

菅鳥

田巣化

為

駕即

和玉鶩

阿方

字鵠

藻十九

名駕

アカドリ

菅鳥

田巣化

為

駕即

谷川氏云兩鳥羌狄東海ノ地方ニテ雨ヲヨフ鳥也兩降ナトシテ此  
鳥室中ニカケリナト云太平記ニテマオモテノ羽ツキタル平ヤナクナ漢  
書云天將雨則鶩必知之タル矣也許渾詩石燕鶩拂雲晴亦雨

あとり

和鳩子鳥

阿堂

字獵子鳥

字集鶩

アトリ

書紀

同廿九十五又

二十三

臘子鳥

アトリ

万廿九

シメル



にとうりうなづりめう帰りくとま旅くすみぬ萩鷺爲忠  
朝臣集 えんづけ ほりのゆすはく業と幸代

コチレタク

あやうらひうハックロヒス

和寂毛 鳥城 毛也

あらーりヒタシ

和驛鳥尾上同也

あくえ

和距 鶴雉性有岐也

伊字距 忽作肥鷺

あをさき

名鶲 アラサヤ

林節青鷺和至鷺

あをさき

あちむり

運青鷺 アラシト、

林節烈鷄 アラ

万三鷹 ふきべよい鷄妻 カモメ  
邊津がよ 呂村たかぎ 同  
長(アマ)ア避村動云い 藻十苗

あぢらぎ

林節鷄鳴鳥 アラサヤ

あみ

袖中みあくらあみの羽ひのかいもゆく人をすみのまこと  
とく御 影暗云みるくるあみのもかいとい水をくらあみとす  
むあう ほとくふにとみとかくうみ大河よもよをも  
信友云若狭もてラビとす(大あ)ば大也とす清河とす信

ひ鶴をうち鶴の大さーて材多よ黒文づ大さひアよや、  
少サレはち羽えい有あうすがとあくもえ水をみて浮  
りうくのこかうがよあみのもじのゆいもあーどもう

あうふ

大五辛六

何以路布、川欽可考

あけつけどり カケ・ニハツトリ・ユフツツトリ  
ニハトリ・ツケトリ

夫 夏安廿三年十一月二十日源忠季矢取りのからぬと行  
ひすすりあけつどりたれをうせん 千首番歌合つて、  
ひよつそうへ流てゆくはるきの船と名鳴らん

林節芋掛 タタカケ 大五辛

都介利乃加比古乃黄計  
えい 枕六十五 紀十七年 佐藩都等利源縞角十三年

兼盛集古

あをきー

名鶴又鶴又鷦 阿キキレ

あくし ことよもい可参考

紀元四二

枕三八 あく

人のつすんととまわすしよ

あくすオホカリ

あひろ

紀十四廿 賊アロオホカリ

わーひづ

万二十三 君よこひ痛もとべあと芦鶴のゆとのもとああま

よひづ

次第解説

あかも うよみ

あまさ

万セ九 山のまふやくは沙のゆきそりんちの浦よ浪よ  
あゆめ 賴政家集 砥を多 あまさみるほとうと石底  
せよ窓よゑの信弓のは島 公雲御抄 秋紗ア

藻十品

あまめ

和玉鶴

あます

新六

伊

いうるぎ

本和下土 鶴

若苗加

字鶴又鳴

和鶴

字鳩 イカルヘズ

林節鶴 イカルカ豆耳

藻十品

万九山上憶良大夫類聚歌林曰記曰 天皇十一年 己亥  
冬吉己巳朔壬午辛未伊豫溫陽宮云 一書云是時  
宮前在樹木班鳩此米ニ鳥大集時勅多掛稻穗而養  
之乃作歌云 又三長あかつえよ いづかげ  
いあむせとり

和 神代古訓鶴領 イナラセドリ

新万土 秋五 稲

貢鳥古今

藻土

いひとよハトリ

和鵠鵠 以比止子 名鵠 イヒトヨ 鵠鵠 字鵠又鵠  
紀廿一 皇極天皇卷云三年二月休留第鵠也 產子於豐  
浦大臣大津它倉又廿九廿五 天武天皇卷云十年八月伊  
勢國貞白幕ト鵠 祀紀廿九兼方業之云伊比登与者衆  
異名也承元四年神宮类此鳥更有軒廊御ト

リレ  
和鵠鵠 伊微 摨瓌集鵠 仁七

ツ

もと ヤマハド

和鵠 以信止

字鵠又 又

鵠 本和下三 鵠鵠

波止

和

紀士三 波刃

源タ顔

少本里立

かの夕旅のやううと狂ひ歌もものゝけのふ

かよソシテふちのやううとまくをまくひてよ  
あり 院よみのとうのあき いとむかへとなり  
とう まほのねむけよらうたくねむかへりとう  
れいさく

リレ  
セクロマナハシラ・ツムトワ  
セクロマナハシラ・ツムトワ

いふおほせうり

字鵠 フリ 和

本和下三 鵠鵠

医鵠鵠

ル波久奈布利

字集鵠 以シマ子

夫都 鳥

八雲日本紀云てあるをも又とあきわくとうと行  
神代上鵠鵠 古訓ナセトリ 藻十、ノアキ運鵠セクロ

和玉鶴 イシクヌ 鶴 イシクナキ 新韻鶴 イシクナキ ツ  
才ホセ

トリ

いまにスクツク ミツク

名鳩 イタカ 伊字鳩 イタカ

ノハの字誤コレハツク 本

のとスヌ通ヒテソモイマタカモ不免の一名アリ

いづか 運鶴又鳴 イスカ

いひ

撮壞鶴

リズトウ

字鶴

宇

う ヒツトリ・ウツアリ・ あとう考文

本和下土 鷗鶴 亨和

紀 神武卷

伊字鶴 ウツアリ・ヒトリ・ツアリ・字鶴又鶴

名鶴 ウツアリ・ツアリ

和玉鶴又鶴又鶴又鶴又鶴又鶴

藻十セ

うかり

名鶴 ウツアリ 字鶴

カリメ

本和下土 鶴 宇都良和

字鶴 又鶴鶴 又鶴字

集鶴 ウツアリ・ツアリ

名鶴 ウツアリ 和玉鶴 又鶴又鶴又鶴又

鶴又鶴又鶴又難又鶴

藻十

六

万ニ長 鶴シロハシノモリヒメトシシラヘ 一万セナ 鶴シロハシ

トハサヨト花鶴シロハシノモリヒメヤシ

うつらのこ

和玉鶴

うくひまき

和鳴 宇久比須 字鶴

ヒス

藻十

枕三九學シムカウジミキモトナタケミキアヨツテラハ夏秋の季  
モアツシタニマキドリヒムキトモアハヌメハ名ヒ  
フリテシムカクモロハシクスニキシマシテラヒコ五十六  
久のモロシタニモロハシタニモロハシタニモロハシ

あく

うすめどりオヌメトリ

林節護田鳥ウスヘ

扶來畧記延長六年六月十八日白女鳥集南殿版位南

伊宇鶲鷺

又護田鳥

ウスノ

字集鶴

ウスヘオヌメトリ和

うふめ

今昔十三大 姑護鳥

うつハトリ

名鷄鶴ハトリ

ウツ

うそえ

新韻鶯

林節

鶯鶴

春鳥子

ウス

和玉鶯

ウマカ

うすせどりミシサイ

名鷄ウスセトリ・ミシサイ

名

大七十 左支度利 神代紀

七

紀土

うだり

やすうこの字可合考

類居云天治本字  
鏡與鳥鵝與官三字鷺其月爻自屬  
同金龜反去属  
眾鳥鵠二月共日  
反入日上字有屬  
長本字鏡屬其之梯以件山為城郭  
月反自屬鳥鳥力  
良須鵠金龜反善知鳥。  
鷺力良須而鳥人依之如此書

証と云ふ字の附屬夫

三家卿

一覽説

みちのくれそとの漢字とことりあらるこ

松葉集

普通本

夫木六脱タリ

此哥ヲ載

ナ四國

雜記河越と云ふ字よソテラニ

歌よソテラニ

ハシテ

苦

リヤスカタノ諺似タリ

木曾路脚巻ト細久手ノ間ニウトウ村アリ善

智鳥ト書ウトウ坂氏云フ坂路モアリ  
按ノ字鏡又東鑑字よもてウタウト書——カノ字音タウ  
トノ假字又用少々格列即

うみかも

字鵠

えつさい 衣  
たぐ余

おやどり 於

本和下土鶴於保止利 和鶴於保止利 小鳥似鶴巢樹者也 和玉鵠  
又鶴又鷗又鶴又鶴 天武記下世ニ土年九月庚子 日中數百鶴於保止利  
大宮以高翔於空四射而皆散 史記 鶴於保止利 正字通 鶴鶴同  
風俗歌駄於保止利乃波称仁之毛不礼利太礼加佐伊  
不知止利曾佐伊不加也久支曾佐伊不見止佐支曾  
京与利支天佐伊布師光家集喜其夜大鳥とノ風俗  
あとうトこれトきくすもあト月と君とよ大トりのぬトの  
のまねとトりよすわん万大鳥羽易モハカヒトヨハキ

陸奥佐藤方定云己が遠祖居城ヲ大鳥城トヘリ其ノ鶴端  
ヨリテ名脇允傳說アリ今モ國人ハ鶴ヲトリ元ヲトエリ按古八

鶴鶴鶴十ラナベテ大鳥凡イニ或ハ別ナテモイルヘシ古ノ物名ナ  
トヲ呼ヘルハオホ另ナリシニ鷹ト云フテ惣名ニテサマニ別名ル  
ニ同シサニ風俗ノ才ホトウモ田舎風ノ哥ナレハオホラカニ雀垂ト得  
タラシカラ雅たシ万ニノ大鳥ノ羽易乃山モ其意ト心得ヘシ

わほやー<sup>コウシ</sup>

和雁<sup>於保和之</sup>

和鷗

名

うつね<sup>俊彦上中</sup>

万大先<sup>五十九</sup>もひなみの二上山よ鈴を  
そぞうひとかさー<sup>羽</sup>も君くわはよ鈴をそしとふ

ひいにク<sup>名ノ系</sup>

和大鷹<sup>於保</sup>

和鷗<sup>入</sup>

鷲

大五毛<sup>袁</sup>度比

ひすり<sup>ウスメトリ</sup>

和玉鶴<sup>又</sup>鶴字護田鳥

ひふと<sup>ヒドリ</sup>カラスの余ニミ

加

かとアシカシ

本犁十

斎鶯肪 鴨 加毛

和傳白鵝加西 斎鶯 加毛 字鴨

和

和玉鶯 又鶲 又鶴 又島 又鶴 又鳧 又醫 又鴨

ス鷗カモ

藻十九

万一千六百四十羽 カモノの羽がひよーもやうてこしまあび  
ツトチヅキも同四尺 鴨鳥のあくふみ地ヨウフミのあれち  
てこううちわカウチハもあくふ同三尺 けーきやーつケイヤツか  
りせりめかまくすくまくすくじかんジカン 王晉記上五を  
一トモナシヤトモナシトモナシ うのうちひれてこそこれ  
ハキムルヒ拾遺冬池のやかとんか暫の假すく  
かのまくすくわな

かりにシノヒ  
カリカリノヒ

本和下土鷹肪 和鴻又鴈 字鴻 和玉鴈又雁  
又鴻 摄壤爰食七 藻十

万ニセ九 とぐたくかの二のすゞうがまゆしの岳よ  
とびう とくみみアハナハカラムモカシのれや又六セア  
たみうれじよほうり タされハ山あら鷹 トモ

かき

本和下土堆鶴 飛駿 加佐ニ岐 和  
加佐ニ支五月音  
株之名飛駿鳥 練鶴 加佐ニ支 字集鶴 鶴鶴鶴鶴

攝壤蒼鶴

紀廿三

同廿九四二

拾介一古鶴サ、 和玉鶴 同

藻十

六帖

えくき 鶴やさしもとやうときかくきのゆきあ

釋雄鶴

かやくきカヤクリ  
木犁下齒嵩雀 加久岐 和

運萱潛リヤク

名鶴カヤクキアトリ 宇集鶴カヤク 鳴サレ・カヤク  
和玉鶴又鶴カヤクリ 宇鶴又鶴又鳴又鶴カヤク  
拾遺初名タミ何ニエラクミの姿ハカミナハシ

く花の名トセヨナツケ

かくえどりミサ

和鳴鳩 加久加乃止利 名覺賀鳥 カワカノトリ 紀覺賀  
鳥 加久加乃 高橋氏文考ニ委ニシテ 寛平縁記亦問公入  
止利 海之由八服啓曰度駿河海中有鳥鳴声可怜毛羽奇麗

間之土俗稱覺賀鳥云、景行紀<sup>廿三</sup>五十三年冬十月至上  
總國從海路渡於水門是時聞覺<sup>カツカ</sup>賀鳥之聲欲見其鳥  
形尋而出海中仍得白蛤云、万三<sup>世</sup>美沙居<sup>ミサコ</sup>居<sup>リ</sup>也<sup>シ</sup>  
からずヤマカラス

和鳥加良須 名譽<sup>ナカ</sup>字集<sup>同</sup>字鷗<sup>ヤマカ</sup>林節鷗<sup>ナ</sup>  
カラ 和王鳥又鷗<sup>ス</sup>鷗<sup>ス</sup>鷗<sup>ス</sup>譽<sup>ス</sup>鷗<sup>ス</sup>鷗<sup>ス</sup>和傳<sup>ス</sup>茲<sup>ス</sup>鷗<sup>ス</sup>  
スカラ 蕩<sup>タニ</sup>

万古共<sup>カ</sup>かすとよやきとをのまちでよもきよもくに  
君とこうくみそり<sup>ハナヒタ</sup>ナリ<sup>ナ</sup>御門院脚集<sup>ツ</sup>す  
くわやとそそりのりやそもねさめかか<sup>ミカシ</sup>の

かわめ

和鷗 売<sup>ナ</sup>米 翼鷗 蕡<sup>タニ</sup>

かよめ

万<sup>一</sup>七<sup>一</sup>長<sup>ナガ</sup>波<sup>ナハ</sup>京<sup>カワ</sup>立<sup>タ</sup>多<sup>タ</sup>郡<sup>ナ</sup>う<sup>ミ</sup>万<sup>二</sup>長<sup>ナガ</sup>お<sup>ミ</sup>く<sup>ミ</sup>日<sup>ヒ</sup>鷗<sup>ス</sup>  
よ<sup>ミ</sup>り<sup>ミ</sup>く<sup>ミ</sup>き<sup>ミ</sup>あ<sup>ミ</sup>ひ<sup>ミ</sup>ま<sup>ミ</sup>き<sup>ミ</sup>十六<sup>シキ</sup>夜<sup>ヨ</sup>日<sup>ヒ</sup>記<sup>メモ</sup>  
の<sup>ミ</sup>一<sup>ミ</sup>う<sup>ミ</sup>う<sup>ミ</sup>せ<sup>ミ</sup>か<sup>ミ</sup>ゆ<sup>ミ</sup>ふ<sup>ミ</sup>い<sup>ミ</sup>れ<sup>ミ</sup>わ<sup>ミ</sup>か<sup>ミ</sup>い<sup>ミ</sup>  
み<sup>ミ</sup>の<sup>ミ</sup>こ<sup>ミ</sup>入<sup>ミ</sup>岩<sup>ミ</sup>の<sup>ミ</sup>す<sup>ミ</sup>わ<sup>ミ</sup>く<sup>ミ</sup>脚<sup>ミ</sup>集<sup>ツ</sup>

かわよも

夫家長郡<sup>ヒ</sup>ノ<sup>ミ</sup>向<sup>ミ</sup>よ<sup>ミ</sup>あ<sup>ミ</sup>と<sup>ミ</sup>ぬ<sup>ミ</sup>か<sup>ミ</sup>よ<sup>ミ</sup>う<sup>ミ</sup>く<sup>ミ</sup>り<sup>ミ</sup>  
え<sup>ミ</sup>ぬ<sup>ミ</sup>舟<sup>ミ</sup>ぬ<sup>ミ</sup>の<sup>ミ</sup>

かわよも

万<sup>モ</sup>長<sup>ナガ</sup>す<sup>ミ</sup>い<sup>ミ</sup>可<sup>ミ</sup>保<sup>ミ</sup>幸<sup>ミ</sup>利<sup>ミ</sup>の<sup>ミ</sup>ま<sup>ミ</sup>く<sup>ミ</sup>き<sup>ミ</sup>  
そ<sup>ミ</sup>の<sup>ミ</sup>よ<sup>ミ</sup>す<sup>ミ</sup>れ<sup>ミ</sup>と<sup>ミ</sup>つ<sup>ミ</sup>と<sup>ミ</sup>う<sup>ミ</sup>同<sup>ミ</sup>譲<sup>ミ</sup>も<sup>ミ</sup>ひ<sup>ミ</sup>春<sup>ミ</sup>山<sup>ミ</sup>の<sup>ミ</sup>

容鳥のまわくもむかへく六帖 うわとうかにしうのまふ  
くあもあく春の壁の草の行けさすすり聲 タまれ  
いせきよなづかふかのどりのこゑよみえくちれかくよ  
為忠朝集材木移かくわよとあらかわしうのつじ一いや  
みよそくせる

藻十戸ハオ又十六

哥林樸檄 汝江ナトニ莫ラトル鳥 之代

列川セミ氏云

林節兒鳥

カトリ

俗曰カホトリの本と曉力

かく少ふと フクロフと同物教

サケホクロフ・ツク

名鷗泉アトレ和

本和下吉

字集鷺チクロフ

伊字フクロフ

源蓮生もとづりあれをうへるのうちいとまきの絵のすゑ  
えをあつてうとまくうけれどもきづりよやくうのほと

初タヨスアドリツヘイボヨミキマツのゆのむきわく  
二ナモクルれき

かいつ

字鷄

か

名鷄カレ

かやくこと

歌林樸檄 カウナキノヤニトリ えカヤユトリ 豆鷄タム野モ

山モミナ白タニ雪ニハ宿ノツチテ鳴カヤ、トリ

かうあつーと ハント、

名神鳥シト、ハント、枕ミトリ欣和

大五毛之度、字集鷺シト、紀廿九セ 皇鳥タマ此言芝苔

御鳥スメ字集  
御鳥カウナ字集

夫せ定家人とをぬきの山のけむよかきのをす  
トモゆう土御門院御集類聚本とくわく難の  
牛のゆけりつゝよくあらんもす

かま

名鶴。鶴 カキ

かめ うら奈

かみ らかげ

藻十九

林節鶴 カトリ 藻十九

夫せちづきひくあうみの推掌よりそらあすか  
あぢりて

かまちう

ちとう奈

かもーき

小太君家集十七

かやくき

名鶴 字鏡鶴

藤為忠朝臣集かやくきのちうの新よひをちくわふ  
おほきよくやつる

かひづく

林節鶴

かげ アケツアトリ・ヘツトリ・エスケトリ・  
ハトリ・ジトリ・クタカケ

古事記ハニヨ神 午波津登理加祈波那人云々継体記  
万七四庭津鳥可シヨウカ 鶴乃垂尾タカノシモフ 乃同十四二  
15うときとかげしる

あり又里とくみあくさりかけ又里をよあくさりの

十三長セイジソつとくナヘモアキ催馬樂

内宮儀式帳セイノシヨウ遷幸下又遍詠ヒツヨウ奉スル稱其音如鶴カク加祈カヒ飼

かききり

和翫ハネ翻上短羽ヒヤウ

六帖六ロクヂツロクひきりのかききり五音ゴモンとしれ行ハシメす

リキテフ行ハシメを乃ハシメモテ

かくす

和嚇ハハ加倍カイ奈久

かづら

和孵ハヌ卯ニク化也

かひこ

和卵ハタケ鳥胎也 名鷇カヒコ

六帖かひりロクヂツカヒリのうひからくすすすのほひよか  
らぬハシメとやくうかん鳥のふハシメかくすて音ハシメをあれハシメるハシメ音ハシメの  
かひきハシメとねりハシメくハシメ万九ハシメセうういハシメあハシメひこのう  
ちのうハシメとハシメすハシメかひこハシメ

幾  
きへ

キノコス

さくら

さくら

さくら

本柳土雉岐之和

紀廿三白雉

医雉 支之 和玉鵠鶴雉鳴羽翼  
同十七奇 枳蟻之藻十五

万八十九春のねよあづりきてーのちまひよおう行か  
とくよおじつて古今詠徊平貞文者のがよあをよせば乃  
書うしよわくろ雉のほうとく

さくら

林節鶴 キクイタキ

さくら

さくら

きつじたき  
初見ノ弟

きつじ

名鶯

久

本犁土 壱鳥久比奈 和水鷄 藻十

六帖 久ひか久あくよをけいあくろゑのよとむこう

久人や帰一枕三八

更科日記四三

久ち たかノ条

久ひ ヨリ

和鵠久比伊宇鵠信安正音公之

大鳥久比

鶯同鶯

小鳥

大五 五八久

比林節天鵠久比

和玉鵠

字鵠

藻十九

紀六八鳴鵠久比

北山行幸記

久また久

和玉鵠又鵠又鵠又鵠又鵠

字鵠又鵠又鵠

十六

くととひミツツ・イマカヌ

和専會比イ本接美々豆久也トア

和王雛

宇治拾遺ニ世

くとリキハシラ

和鳩入呂止里  
和鳩黑色水鳥也名鳩ニロトリ字集鳩燐眉及似鬼イ  
リ・フク鳩古慧及古穴及林節鳩名トリ

土佐日記廿日ノのときもかりよかくよふかてをきくをう  
とうふどういものくまほやうそりき  
くとナ  
あくすけとう余

名鶲草年

くとヒトヨヒトヨ  
りじとよノ余

くと

紀廿三

統紀一十五文武天皇四年十月直廣肆佐伯宿祢麻呂等至  
自新羅獻孔雀及珍物

くちば

和鳴久知波之

くちさき

和喙久知佐木

計

けひたう

和玉鶯

けらつとき

烈鶯又鳴和玉

古

こわー やほゆ 条

伊字鷦鷯

このりタカノ条

伊字兄鷗 コブリ

似鷹而大鳥也

和玉鷗

こふくひ条

こいたらとひ

和寒鷗 古伊太流止比

こいさく

林節五位鷗

こととう

文德實錄齊衡元年三月有鳥集殿前松樹俗名古之鳥

其鳴自呼

こまくろ

運駒鳥

こまくろミリサンサイ・ミワサイ

和玉鶲コトリ

こうらめ

大正治二年百首 小侍後をねうもえ

もあひるいとう飛のちきりとせむるコカラク

上脚門院脚集 緊集本 やまの山すくらからめいあく

れのころ木の葉とわらわ

林節小陵鳥コカラ 同食服 鶲文コカラ 藻十六

ことあなひ

之部

鶲文コカラ

藻十六

名鸚鵡コトマナヒ

紀廿九

鸚鵡アラム

こまみクジヤク

字集鵠コハミ

孔雀同

こひすカトキス

太五毛古比須又保度イ支寸

万九せうくしよの生卵の中尔霍公鳥をうちうずれてあり  
ちよ似へかずかともよみてはゆきてふい

こもと

字集鵠コハト

こもとめ

和玉鶲

三  
字鶲

佐

さき、ヤマサキ

本和下士鶲佐支字鶲又尊又鷗又鷂又鷄サキ 和

和玉鶲又鷺又鷮又鷯又鷉 カキ字集鷺ヤマカラス林節

鶲ヤマカラス 蕤十七

六帖 さきあらややくまの森の聲すても猶然と  
めぐらすりと枕元さきはとろぬるそよぎ  
あこゑふとむとてとうによろづのれどやくま  
のりよせうりはゆく河すんじゆくへん万十  
六十八池みの方士森も白雲のわとひねくとひよる  
らむ

さやつまどり

和觸騮佐夜豆

木土里  
ウスセトリ

伊字鷄騮カヤツトリ

さくさく

和玉鷄

サイ  
又鷄

さくさく

和玉鷄

サイ

さくさく

夫鷄シカクチ  
シカクチノコノ背シカクチ

夫鷄シカクチ  
シカクチノコノ背シカクチ

さくさく

名鷄ウシマトリ

又鷄又鷄又鷄

似燕生鬱林知天將雨  
サクナキ

字鷄サクナキ

字集鷄サクナキ

シメ・ヒメ・振壞鷄  
ミツトリ

さくさく

かれぞゑ

さく

字集鳴

さか 俗ニムトガ

和毛冠モコ毛角カク

さくさく

和囀鳥吟也

さく

林節鶯サニハ

志

あとく

かくないちくカノ部

藤為忠朝臣集神鳥。いづれもくすと足りて、ゆきりて  
とくよめれくやどらひのそ

和鷗ト、和玉鶴又鶴又鷗又鷂又鷂ト、藻十五

さぎ

和鷗云木一字鷗シキ古節鷗

三代實錄嘉祥三年童謡ニ護既田郡搜河左理食無志

岐那椎雄伊志岐耶枕三八

万毛たむすてよりひ之伎の鳥事もきく(まうせ)い  
こひてえかお——赤染衛門集二四

六帖もさもうせてあか(きよさよ)ふをねく(ま)

時惟因小うかくはす万十九年五月廿四日 小大君集ニテよしとて

きくうとからかくとをきのすへはうきよにすまやめん

ありヒノア

和鵠ミササギ之女 名鵠ヒメ 伊字鵠シメ 伊字鵠シメ 小青雀シメ 字集鵠ヒソラ ヒソラ

和玉鵠シメ

万十九此未 全文イカルカノ處ニ在

ありとくツツリ・ウ・ラノ余

伊字鷗シメ 鷗

あくうからめ レ・ラカラ

あくうから

夫四十唐宋蓮柏ボク四十度のそたてあるやくわりすむ  
即のすこを 肥集キハ 蜂ハチシラアル今ミテハレバコ

・

・ソナトイフラホ是ヲツツササハタオモニテソ有キニ。又或人是ニ

ツツヘ罕ハツカラコソ鳥ノカズナレ

遜鶲カツラ ウ 林節四十雀ミラカラ

信友按ヨシキ此鳥の声ニジアと云ふアカラヒガラ山ガラ

ふとのカラムム因属ムツ又此鳥と云ふを云々ニジアカラノ

コガラタヒガラタ 山ガラメヒガラメ カトコハツムクラツツバクラメツツバクラメ トモリスラム

呼ハスアキアキヌキアキカラトツラ河ハシラカラノ似シマツ嘴短ムツクニ尾

長ロハシ平ヒラハシヒツコシツアキカツヒツコアキナ此鳥も元

あるもソアケル本名をナト

ホウモウラ

クムタラ余

撮瓈集鵠ヒロトリ

續紀三十度雲元年七月下總國獻白

鳥

とりまと

續紀一七

文武天皇三年三月河内國獻白鳩

とりきつと初とツハメ

續紀一九 文武天皇三年八月伊豫國獻白鷦又三十慶雲元

年七年厄京職獻白鷦

トリヤクナリ

和玉鳩

トリヤコ

和傳鷗 鳩之也 藻十九

トリキカヒ

和傳鷺 加毛

トリキカヒ

トリラサキ

字鷗 又鷺

湧

スドミ

すくめり

スドミ

和玉雀又鶲又鶲メ、本和下土

立共湧ニ木枕三九丸  
のこよひ紀五十雀スノ同廿十四雀鳥メ、拾芥一十三  
爵メ、六音番冬朝林節雀スニ

すくめのこ

和玉聲スノメ名爵聲カヒコ

すくみたうたう名

たう

名鵠タカ又

すくどうり

林節 スカト 空而以鳳凰

信愛葉ニ寔和ノ声ナドヨリ出タニ

すかとう

名鵠 スナトリ

すかどり

あそどり亦

伊字駕 スカトリ 為作雀

田麗化爲一是

万士也 アシモウ 鶴の細江の夜もの姉よ子ねやと

行焉づる

す

スナフ

和菓 ヤク 濱父不

すより

和鵠 ヤク 卵不禮也

須毛里

頼政集 アシモウ

あひうすを侍一女アヒウスのやうへとほお葉とあ

てゆとみけむ山室へかづつとそとみくあらす  
とよしめくすりあくすり葉く侍アシモウのゆとよしめくすりひつか  
もくろ鳥の子れすゆりよとすはききせんとて  
ゆくわはききすり

すだら

瓦亮とくたてえへーかくよ酒主ふはまゆとのとく

とくうすりぬ

世

せりさぎ

運微鷺せり

せぐろ

運背黒セロ

せみ

大金駄世布比

さう

なう糸

曾

スル

和鳩 鷺鳥食已吐其皮毛如丸也

スルマナハシラ

シヨヒ

和鳩曾比

字集鵠マナハ

翠鳥

リヒ

伊字鵠。鵠。鵠。

水狗ソヒ

ソノシラ

和玉鵠

スル

字鵠

太

たククチ 杰タカ コイリ ツミ スタカ セウ ハシタカ ダイ  
ヤマカヘリ クタカ コタカ スミタカ シラタカ ツフリ ノセ

ハサキ エツサイ

和廣雅云一歲名之黃鷹

俗云和賀太加

二歲名之撫鷹

俗云加田

加田利

三歲名之青鷹 白鷹 今俗青白隨色名之俗說 鷹白者不論  
皆名於保太賀小者皆名世守漢諾用兄鷹二字為名所出

未詳俗說雄鷹謂之兄鷹雌鷹謂之大鷹也

和角鷹

人万太加

和鶴

波立太加

兄鶴 古能里鶴子都布鶴屬也

利

鶴屬也

雀鶴

次美多加或云云豆美

善捉雀者也

雀鶴

悅哉小鷹也

鶲

夜布佐

鷹屬也 韋訓

販

鷹鳥也 大名祝鶲

鶲加田

流

大五十三毛

也方加倍流撮壞山廻

ヤマカ

林節山鶲

ヤマカヘリ

同弟鷹

ダイ万十七

甲立

矢形尾乃安我

朱名大黑爾

大黑首蒼

鷹之名也

之

良奴里能鈴登里都氣底云 拾遺 物名引はゆち雁を  
のをきるふせんとうすくらむにあうもあ候と云ふ

へ散木集クナ

堀大百首哥散木集又曰一 同やうと 六帖やうと

伊字青雁

モロカヘリ

又黃鶯

モロカヘリ

紀椎畠紀

三歳雁也

同十七集

和鷹又鷺

六帖為家 藻十三

たづ オホドリ

和鶴 立

藻十三

和玉鶴

藻十三

万一千

やまとひいの鶴モロシよそうなみすのさき

又多津鳴

倍思哉同十六多頭我鳴乃今朝鳴奈倍尔云

信友按又雁よとり山と同 鳴声とう鶴と名よう哥  
詞より拾遺アマトリ 伊勢 大きくかしれりながらの音をすむわ  
よくゆめおなじゆくわ

たづ オホドリ

和鶴鳥移止 字鶴

撮壞鶴タトリ 林節田鳥又鶴

タトリ 信友按ニ紫野今宮ニ青古鏡花斧アリ其謡歌舞連真

筆社鈴木氏テリ其謡詞ニたづりたづりトアリ山鳴ノ事ト

主但シソハ論フヘキ事多々ハ別ニシルセリ

たづ

和鶴 多加聞 字鳥 多久

万三十六人こづかくともあらへつきすりと高部と

ふすのよアモ 赤拂衛門家集一三

たゞ

伊宇鳴ツツ 多ハ音歎字鵠

和

たゞツツ・タツ

名鵠タラツク

たを 同上

たか

名鷹

たくみどり

枕三八たくみどり李吟春曙抄ナニカ巧鳥ナニカ巧婦鳥女匠ナニカ

とす本草ナニカ藻十六

知

ちとう カハナトリ

古上傳ミサシ

万三大かふあうミタ良ナニカあくハキモーめよつて  
かひりゆ又わせこくやの宣のあ次ナニカ乳ナニカあく  
君ナニカおもひて又共ナニカのうみのナニカ乳ナニカあくハキモー  
くさわナニカのゆりゆうくふ枕三九川ナニカちとうハ友ナニカモモ  
うんうそ 六帖ナニカ ちとう大をナニカをゆるちとうの我ナニカ  
らナニカとすのヨリナニカといふあくやナニカ川千鳥ナニカすむ河ナニカの上ナニカ  
えナニカのすされナニカよナニカひるナニカくねはナニカ至ナニカ

聖鴻又鵠ナニカ名鵠ナニカ藻十六

都 つゞくらツクヲ・ツノ・

つゞくらめ

つゞくこ

本和下土 鶴良女 都波久 伊字鶴 ツクア 名鳦ハク ツ

字集鶴ラヒ 和玉鳶ツヅメ、ツ 亂 又鶴 又燕又字鳴ハツ

ヒラ 鶴。鶴。鳩。鶴。同 藻十四

書紀辛土白鳶タヌメ 捨芥一十一 玄鳶ツバハ

六帖 つゞくめ ほもくめ くろけすきりぬとからひの はなまくじて  
えかくれかく 万十九三アリ

つゞめ 同上

つひルヒス

つひす

和華尾又遊牝

都流比一本一頃  
俗云由比トアハ音ニ

つる なづ余

和玉鶴又鶴又鶴 𠂇字鶴

つる たゞ余

和玉鶴

つみ

和鶴 豆父見

和玉鶴又鶩又鶴又鶴 𠂇字鶴

古今集

拾遺 物名つみわらわらあや／＼けよもれのむり

つくとつてあくさん古今席元後もれよゆりひくらめ  
哥ナリ

あうちきあまきメヨツラミアリモシテモシテ

つく ミツク・  
スリ・イマタカ

名木兔 ツクミ云 宇本菟 和木兔 都久 紀十三

同土五 大五モ 豆父度利

三類歌合繪卷物ちかくいだねよにぬうそんつもんを  
みづづきとすけり、云々主脚門院脚集 亘史の山海

あひみづづくハ世のうき事をさか やわす

つく

新韻鷺 ツクリ 白鷺似鷹毛

つちれをと たと余

林節鳩

てとり

林節都ニ鳥

てまかへりチオセトリの余

つあもせとり 同上

つきタウ たう余

字鷗又鴟

つるとり けとり余

ついろじ  
和啄都以波無

つけ  
和淋湊毛羽初生良也

つるぐ

和翼都波佐

万ニ生鳥翔成ありうきつみめよひとくおーらぬ  
あつあうとも

天

てらつくさ

本和下岳 啄木鳥 天良都 和野本

同鳴 同啄 同伊字都盧

テラツクサ  
テラツクサ  
テラツクサ

藻十六

てりすこ

モリスコ

字鷺寺ツキ 鶴

文ナシ鳥ノ名

止  
ヒカシラ

本犁下士 頸頭此乃加良 和鵠ハニ 字鴻又尊又鵠 和玉

尊又鳩

又鳩又鵠又鳩

又鵠又鵠又鵠

藻十古

枕三十

とひ 十訓一古

あゆよりて兄れ左毛子のよ

ゆきそくへどり いふかしせどり

とき

穢壞集鵠トキ 鵠誤力

和玉鵠又鵠

とり

和鳥土童

とうのふえ

和吹鳥乃布江

とうのゆに

和曉腔鳥乃和太

とうら

万ニセ九鳥埴だくかりかりのすもくもくすもあくめ号り

とううづくよ 和時安良

とうき

万三亭鳥總立あか山よあふうくやまきよさうもあ

たうふにのうと

あく

奈

和鳴鳥啼也

正月  
本  
理  
記

仁

にもくり カケ ツトリ

アケツトリ

あけせき

和玉鶴 又鶴 又鳴 又鶴 又鳴 又鳴 又秋鶴 藻十三

にもくらさう

いふかわせとう

る

にもくらさう

いふかわせとう

る

賀茂保憲女集

ももほり

か

よ

し

い

し

い

い

い

い

にふ ま

和鶴鶴

ホ保

異本鶴作鶴

正十鶴鶴

ニホリ

林節鶴

ニホ

い

い

い

い

い

い

字鶴又鶴

又鶴

又鳴

字集鳴

ニホ

藻十九

集本十九

万四年二月のうちからころかふ君よゆうひ  
ころめさね同立 部保鳥のあくあいみえく

曾丹集<sup>二月</sup>中かつまくの池のわのとナ一トナヤモのとくと  
そやきゆかく

にこけ

和 林節 玄耗

ぬえどりヌコトリ

ぬえどり

万長<sup>ハ</sup>りきよのひをつゝく奴要子<sup>きよし</sup>なきとれ  
万ニ長<sup>ミ</sup>あやふふ<sup>一</sup>み宿先鳥<sup>の</sup>斤<sup>キ</sup>玄<sup>ス</sup>よも<sup>二</sup>同<sup>セ</sup>七<sup>セニ</sup>長<sup>ミ</sup>  
萬<sup>ハ</sup>舟<sup>ダ</sup>あ良<sup>の</sup>智<sup>ハ</sup>家<sup>メ</sup>奴要鳥<sup>の</sup>う<sup>シ</sup>ナサ<sup>一</sup>ア<sup>二</sup>た  
くいよのりひづくられ<sup>三</sup>

ぬゑ<sup>ヌエ</sup>  
<sup>ヨニキトリ</sup>

和玉鵠又鶴又鷁又鵠又鸕<sup>ヌエ</sup>藻十九

ぬえ

字鶴又鷁<sup>同</sup>林節<sup>禪</sup>

玉篇曰音夜日本俗作鷁  
即原之任頼政所射者也

ぬくめどり

後京極脅三百首

冬

たうのとろこぎのうちのぬくめす

こわる丘根のあきをそぞる

西園寺殿百首

雪

一夜のたうのぬくめどりもつこゑもあはれあるうれ

但馬  
堺本

ロソギ

きよしきあそぶせにゆうかの百半の美ひをまぐ

ぬくめどり

秋

伊字宿鳥不トリ

のせ  
タカ  
乃

和鶴鶴乃せ鶴之属也

波

はと

ヤマハト・シロキハト・  
イヘハト

本和下土鳩鴟 波止

和玉鶴又鷦又鷯又鷗又鷂

鵠又鷺又鷗又鷙又鷂

又鷙又鷂又鷃又鷂又鷃又鷂

藻十三

はーたう

たる糸

和玉鶴又鷦又鷯

はやくさ

和鶴又隼八夜

布伍和隼又鷦又鷂又鷂又鷂

又鷙又鷂又農風鳥

はーと

大五毛 波之武度

はーくどり

大セナハニ波之布度利

自氏集

はつらうひ ヒキツクロヒス

和刷蕩鳥理毛也波都久呂比

は 和羽 波

はやち ハウツ

はこう

和翁 飛峯也波布流

はね

和翻 八祢羽本也

はかひ

万一共 あーくすく鷹の羽我はよまかくまきゆく

ハシードアリヤ

けとシト、 りなまくく余

はーくみ

和玉鶴

はくとり

夫箱鳥

六帖をどうみやよ本よように見てなづけ  
こゆのあいゆん事とぞり切(音)て絆よをよま  
つるくもとゆめゆもえすておのれおきりう  
すねよ切りやもとゆのあくとおもとおも代(音)ふ

ウソノカニ遠江日記 漢名のウソノカニの色玉を胃の病ナミと名

のなまくとさうて古傳のことうとくとてをこきせり  
をこれーとわひらう角 源若菜

枕三九

枕三九李吟の春陽抄より或説よもやーとひりがり

早木鳥と書こう

藻十せ

伊字篷ハコトリ

ひとまどりキヒタキ

林節鶴ヒツク 鶴同藻せ

大火燒鳥

枕三八

ひす

名鶴ヒヅル

ひそり

かり糸

ひそり

万丸ヒツク うつりみてねりそりよひそりあらひかかーり  
獨ヒツク ひづるハ 曾舟集 三月終道芝シマ ゆくふらかハシ まみ

おれいぬるわはりかくくわぬ多引

本和下ヒツク 土雲雀ヒボリ 和

字鶴又鶴又鶴

鶴又鶴又鶴又鶴又鶴ヒカラ 林節鶴毛駄毛色ヒヨウ

ひとうり 吊トリ

ひえとり

本和ヒツガ 鴨ヒガ 比衣ヒイ 莖ヒシ 和玉鴨ヒタマヒガ 藻ヒヅ 十廿六

和

林節鶴ヒカラ 統紀土八鶴ヒヨウ 鶴ヒヨウ

為忠朝臣集ヒサシヨウジンジツ のあさき乃枝ヒサキノエダ カチヒズクシキヨ  
ヒトリス松ヒトリスマツ ハタリカタ 土脚門院脚集ヒタマハシモンイハシジツ あうちかすく  
すくされぬひえどりこまわうきとせをすとすが

ひれ 烏ヒヅ 余

伊字鶴ヒツガヒガ 驕ヒキ 鶴ヒカラ 同ヒツガ

ひめら 字鏡鶴ヒメラヒキヒガ

ひから

運鶴ヒカラ 林節鶴ヒカラ 草節日鶴ヒカラ

ひわヒワ 六

林節鶴ヒワ 和鶴ヒマキ 吊トリ

枕三ヒモ

ひち 前見ヒミ 夕

ひきつくろひす

和臥ヒモ 鳥理毛也

ひたれ あらーり余

ひとうり 吊ヒヨウ

ひふ

六帖ヒカラ かむどうのかきまつりよみとそれ續ヒツすとす

アラシニシテノミシカニツメテハシクシムヒヨウ  
のミシカニテキモアリヤハシム

不

アトリイ本

和布穀鳥 布<sup>レ</sup>止利

名鵠鵠鶴

アケ フニテ

和襪被 布久介

アラカケサケ ホウフ

和玉鵠 又鵠 又鵠 又鳴

又鳴 又鶯 又鶯 又鶯 又鳴

アケアテ

和鼯毛 鳟干皆生細毛自溫

伊字耗毛 フニケ 襪被 同

アラ

名鷺 フキ 雉屬

アラ法俊亨

扶桑畧記廿三裏書 延喜六年七月十四日夜五條后宮

松林佛法僧鳥鳴衆人聞奇異自去三日講法華經玉

造小町社表書池鳥轉三寶浮沈往來飛躬恒家集

甲子

新千載

尺

雅言集覽所引  
新撰六傳大寺先後  
の尾の寧

前よりああタビにあまえきで仏法傍々 三す里を走ひて  
ハ道旁に仏像を多くあまなさればらそをもうる 朝恒集ニ延喜六年八月十一日庚  
辰の夜まへどすア佛法傍とふ多めの「おれどよみとす」と記零ト合六妖僧がシワ  
ザルベシ 余内侍日記建今年百三ア仙法傍とくも大政大臣す年くを常の居所の  
ゆえんとふれどしがをす降る日はこそたる「おれどよみとす」すゆすゞハえきの  
やうに今モテ「おわきゆう」  
とたかくよか「おもてがひ代えればおのの室のとうもろくす」

保

やうり条

ほりどり

出雲風土記法吉鳥

ほりどり

運鷦白

ほりどり こそス

和鷦鸘鳥 保度木湊

環瓈郭公又時鳥

字鷦又郭公

和鷦又鷦又瓈又鷦又鷦又鷦又鷦又鷦又鷦又

今郭公

社一藻十七

万三四六上署

郭公空有目よ

あやめ草をゑのくとじよめを

下

又八三足引の山不とも秋あよ多々ハ家をす

候をす

ほくし

大五四 保度之止利

ほくし  
かくねと  
えくふる系

ほくし  
和傳雉支之又  
保昌之

ほくし  
ほくし

和玉鸕

ほくし  
トリノワキノレタノケ

鳳凰  
藻十廿九

和

末

ほくし  
ことりテリニシ

夫增子鳥

林節鳴

マレウ

藻十廿七

ほくし  
夫松笔  
藻十廿七

運斑鶲

マタラウ

ほくし  
林節鳴ツカニツ

ほくし  
字鳴又鶲  
えひノ系

ほくし  
まめう牛一のとり  
いのうう系

穢壞鵠マノウト

豆耳鳥

モモクリマチリ

大五十六万批判之万介利藻十七

モナリ 同上

美

みづくツクスカミツカヒ

伊字木鬼ミミツクシ

みきひミキヒ

みつて希

みきみミキミ

うきせき系

和玉鶲ミツサ

和蒼鷺ミツササギ

みやことり

万世咒アケミヤマハシノメノムの門のアカミモフミルてあくハ

やこちづモチ亭

枕元モヤコトリ本モヤコトリ十六夜日記サヨタ尾張乃むおと

ふしきをやくしすまの口もふじをあうとまく  
いえ都もとあるのはと行とあるはば海  
みもありりあらそんちとあといづさりし  
あすじ方のこやこをかも和泉式部集詞書前後と考る  
よ持波もとさる  
りやてほてよすきくい都もとくさくも  
ありれまく都もとやこのこととくわゆきつせよ

伊勢物語

藻十五

みどり

枕三六

みどり奉ニヤコトリト行カナイシト、行ぬ次考

みどり

和玉鶴

みさと カクガトリ

和玉睢又鶴

藻十七

伊字睢鳩 翳加鳥 睢已

同字鳴又鳴

万三畠 美沙居ミサノ

居してゆかすりそのかもめちーとよ

ねやーくす

みか 未

源平盛衰記那波守市の扇の的射扇ひそよとつまくら  
ハめきてくほよありしきのうきすく

みつしき

夫水乞鳥

外記日記 水乞鳥

藻十七

伊勢集

山家集

みづとり

新韻鵠白一  
ミツトリ

和玉鵠又鵠

万セ三浪音シマモモウタノミヤマ

経やかく風カクフウ

みづとり

字鵠

みづとり

和啖

美豆加木鳧雁芝指間  
有幕相連者  
伊字同

武

ひき玉きとり

古玉篇鵠キヨトリ  
和玉鵠

ひき玉し鶴ウツヒス

ひき玉み  
林節駕ムシキモ

ひき玉

和肫鳥藏也

めどり  
和女

名畠ナドリ

母

キス

本和下山百劳毛须字鵠又伯劳和鵠拾芥王

鵠毛又和玉鵠又鵠又鵠又鵠又鵠又鵠又鵠

紀土三百舌鸟モス藻十五

六帖卒春されいやの並くもみすしと我のそやうん  
君うあくうと万十ニモアリ秋のれどもく事よ写すの  
在きくらんうかまくわきも万西土ニモアリ

キモトウ

万セナキウトウのからハーナムアカアラシヒミ

キモミ

和膝鳥受食外也

やまとりたり

也

本和下土 山鶴

和

夫鶴

名鶴 サトリ 摧壞鶴 サトリ

和玉鶴

又鶴

又鶴

又鶴

又鶴

又鶴

又鶴

又鶴 又鶴 又鶴 又鶴

又鶴

又鶴

又鶴

又鶴

又鶴

又鶴

又鶴

又鶴

枕八山 サトリハ友をひく小かみと兄弟の者

さけんいとあむねをうなだてるりとゆきこく

うく

らく

万ハキ

アリの山をよしはるを向

つまといすとようとめの人がきねやかよせとか一日一夜も

まかねてあきこさん

ハ雲脚

俊頼卿無名抄

童蒙抄

やまかと

和玉鳩

字鳩

やまかとめ

鳥ヶ尚考ヘシ

大四土廿五

也万加古女

やまかと  
和  
マカル

やまがらのヤマカラメ

やまくわ

ヤマカラメ

和玉鳩

林節山柄

ヤマカラ

和玉鳩

拾遺物 番 やまくわの紅葉もよ夜の氣りもよけり秋の山  
かづめでこゝへもふ六モ山かづのまつじくみのとよかく  
ユキをわづこゝへたひうりらう 大平紀山がつつきのよ

どうをうつのあき 平家物語八六

やまかとす

和玉鳩 又 鳩

やまくわ サキ

さきノ余

やまくわめ

林節鷦 雅マス、ト

やまくわ

たかノ余

やすうじゆ

くふちノ余参考ヘシ

正徹家集 真 あそそりうきよとくみのとくみよくく  
漫ややまくわのとう藻塩草 お代りふあくみのとくみよ  
かくすゆ計 やまくわのとく

やつとり やツトリ

伊宇駒晴 やツトリ 可考

由

やつとり カケニハトリ、  
アケツトリ、

後撰 雜二  
やつり はてりやまちふあすてはる  
まのじよ内院のけり ゆまとてらを口そん  
ゆきとゆとのつばれねねひくはきける  
あはのやつまるどりのきとすとすとすと  
うる

與

よことり

和喚子鳥

藻十五

字鏡鶴 杜一三首鳴 鳴同書入

ヨニコトリ

五十毛大和の呼子鳥ヨシノウラの中山ヨシハラある  
から 信友説列ヨシヒツクレあり

よすめ

運葦雀 ヨレスメ

よみうちとり ヨミツトリ

捨芥一セ ヨシテトリヌヌエヌヨニツトリ

よみうどり 星

和恆鷗 ナカガ 宇鷗

オカトリ ウドウ

歌林樸散拾遺

和  
オホワシ  
ユワシ

字號鳥 又 鷗

鷗 又 鷗 又 鷗 又 鷗 又 雕 ワシ 藻十七

を

遠

本和下士鷺鳩平之 和玉鷺一鳩 鶴藻十九

万三十六人ニシテアノモトナリテテテテ  
とおのよすアレ 又土土妹ニシテテテテテテ  
キム、カモトイヨリ妹ウ伎ウ 桜三十九水トナリテテテテテテ  
れケリケンタヌカウシテテテテテテテテテテ  
シテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテテ  
尖君家集五 きのたちけ

を

和雄鳥乎莉 宇四

を

新韻騷

鶯也  
ラカモ

をかがとう

藤為忠朝臣集 尾長きとちあゆさるやにま尾多

とうとうきてとくすねのう

とくすね なかみ

と

和尾

を字

和

